

なすからすやま 社協だより

1月
No.159

2019. 1. 10
発行・社会福祉法人那須烏山市社会福祉協議会
(事務局・保健福祉センター内) ☎0287-88-7881
E-mail: mail@nasukarasuyama-shakyo.or.jp
ホームページ: http://www.nasukarasuyama-shakyo.or.jp/

誰もが自分らしく“共”に生きる地域づくりを目指して



作成したディンプルアートを持って記念撮影

障がい者余暇活動支援事業

本会では、障がいのある方が休日により充実した、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを進めるため、居場所や生きがいとなる余暇活動づくりに取り組んでいる。

この事業は、就労支援施設等に通う方や地域で暮らす障がいのある方が気軽に集まり楽しく過ごせる場所を作ることと同時に、障がいの理解を広げ、余暇活動づくりに関わる地域住民のボランティアを増やすことを目指している。

これまで、市内で活動しているボランティアサークル、スポーツサークル等の協力を得て、スポーツ交流会や音楽交流会等を実施し、また新たな人との出会いや経験したことのないスポーツに触れることができるなど、いつもと一味違った余暇を過ごすきっかけとなっている。



市スポーツ推進員が中心となり卓球バレーを実施



地域の障がい者の余暇支援・居場所づくりについての意見交換

また、事業推進のために福祉施設・心身障害児者父母の会・市スポーツ推進員・市社協職員とその他ボランティアが集まって研修会を行い、共通理解と連携を深めている。

今後は、地域にあるボランティアサークル・市のイベントなどに障がい者が参加し活躍する場の拡大にも取り組み、居場所や生きがい活動が日常的なものとなるよう進めていきたいと考えている。

新年あけましておめでとうございます



社会福祉法人
那須烏山市社会福祉協議会
会長 丸山 眞一

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様には、輝かしい新春を
お迎えのことと心からお慶び
申し上げます。

平素より、社会福祉協議会
に対しまして、深いご理解の
もとご支援、ご協力を賜って
おりますこと心から厚くお礼
を申し上げます。

さて、近年における福祉を
取り巻く環境はめまぐるしく
変化し、少子高齢化の急速
な進展や核家族化に伴う家
庭・家族の介護力の低下など、
様々な要因によりこれからの
地域福祉の在り方が問われる
時期となっております。

特に、認知症高齢者や一人
暮らし高齢者世帯が増加傾向
にあり、地域社会や家族が変
化する中、介護保険では対応
できない生活支援ニーズや社

会的孤立、貧困等を背景とす
る深刻な生活課題が顕在化し
ております。

こうしたことへの対応にあ
たっては、公的な制度に基づ
くサービス・支援だけでなく、
普段から地域の人たちと互い
に支え合う地域づくりが大切
であります。

当会としても、地域の方々
が住み慣れた場所で自分らし
く暮し続けることができるた
めに、心豊かな人間関係のも
と住民と専門職が協働して支
援体制づくりや生活困窮者へ
の支援の仕組みづくりに向け、
市民の皆様方をはじめ市行政
並びに関係団体と連携して、
更なる努力をまいります。
本年も明るい地域社会実現
のため、一層のご支援・ご協
力を賜りますようお願い申し
上げますとともに、皆様方
のご健勝・ご多幸を心からご祈
念申し上げます。新年のご挨拶
といたします。

地域と専門職の 連携体制を検討



地域と専門員との連携方法を協議

人口減少・少子高齢化、社
会的孤立等の問題から発生す
る複合的な福祉課題を踏ま
え、今年6月から3回開催し
た我が事・丸ごと地域支え合
い体制づくり検討会が11月16
日で終了した。

検討会は、滋賀県高島市で
活動実践を積んだローカリズ
ム・ラボ代表の井岡仁志氏を
招き、住民による地域福祉活
動の充実強化と、重層的な支
援体制について、自治会や民
生委員児童委員・市・社協の
関係者と共に協議された。

具体的には、自治会を単位
とする見守り活動を通して、
地域の福祉課題を早期発見
し、民生委員や社協、市等と
連携して早期対応につなげる
ことができるとの共通理解が

図られた。また、活動が広
がっていくためには、いくつ
かの地区（圏域）ごとに相談
や連携がしやすいようなネッ
トワークをつくっていくこと
が必要であると提案された。
今後は、検討会での協議を
基に、各自治会や民生委員等
と調整を踏まえて見守り活動
の充実、一定の圏域で課題等
を受け止める情報交換の場を
設け、地域と専門職が連携し
て課題を解決する体制を構築
していく予定。

上境自治会 防災力向上交流会

12月1日、上境自治会主催
による防災力向上交流会が、
同地区内の菊地製作所敷地内
で開催され、地元自治会員・
育成会・消防団をはじめ、日
赤奉仕団・国土交通省日光砂
防事務所・烏山土木事務所・
警察・消防・市・社協職員な
ど協賛団体から約120人が
参加した。上境地区での災害
想定から、国土交通省日光砂
防事務所の自然災害体験車に
よる土石流・火災流3Dシア
ター体験、火災・応急対応体
験、土のうづくり、日赤奉仕
団による非常食ご飯づくり体

験、育成会によるカレーの炊
き出しも行われた。

自治会長の矢口正則さんは
「災害はいつ起きるかわから
ない。上境地区では大雨等で
土砂崩れや河川の氾濫などの
危険性がある。社協の研修で
学んだことなどを参考に企画
した。災害時は自分や家族、
近所同士の協力や手助けが不
可欠になる。そのためにも、
普段から地域内で住民同士が
つながっていること、関係機
関との連携体制ができてい
ることが大切。今後も活動が充
実していったほしい」と話し
ていた。

社協としても、支え合いの
地域づくりの観点から、小地
域見守り活動や災害ボラン
ティア活動体制づくりなどを
通じて地域との連携を強化し
ていく。



土のうづくりを体験

住生活

「ナスカラをつなぐ」災害ネットワーク作り



11月17日、南那須公民館で、社会福祉法人敬愛会主催の地域シンポジウムが開催され、地域住民、福祉係者等約150人が参加した。

第1部の基調講演では、作新大学女子短期大学部教授坪井誠氏による「災害備える支えあい・助けあいー市民と関係機関の連携、協働ー」と題した講演がおこなわれ、地域が一体となって、自助・共助の取り組みを進めることが重要だと訴えていた。また、敬愛会・市・本会から災害対応についての取組みについて報告があった。

第2部のパネルディスカッションでは、「災害時における社会資源をつなぐネット

ワークづくり」について、意見交換された。パネラーからは、地域や関係機関・団体の皆さんと連携して見守り・支え合いの活動やしくみづくりを推進していく必要があると話していた。

配食サービス

ボランティア研修会



11月9日～10日、南那須公民館で南那須地区と烏山地区の配食サービス合同研修会が開催され、15人が参加した。

研修会では、在宅栄養士の宇井土さんを講師に「高齢者向けの手早く作れて美味しいお弁当メニュー」をテーマとした調理実習を行った。

手話サークル講演会

11月21日、本会烏山支所で、手話サークル「紙ふうせ



ん」主催の手話講演会が行われ、25人が参加した。手話通訳者の大場孝泰氏を講師に招き、ろう者の生活や、ろう文化についての講話があった。

参加者からは、「手話は日本語とは別の言語であることがなんとなく分かった」等という声が聞かれ、ろう者についての理解を深めることができた。

いきいきクラブ

指導者研修会

11月14日、南那須公民館会議室で、栃木県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長白根沢彰氏を講師に迎え研修会が行われ、32人が参加した。

テーマは、「共生社会における老人クラブのありかた」で、誰もが生まれ育った地域で安心して暮らすためには地域での課題を他人事ではなく、



自分の事として考え、地域で支え合うことが必要。地域で支え合い活動を行う団体としては老人クラブが最も適していること。活動を継続するためには60代のヤングオールドを増やす会員増強運動に取り組むことなどを学んだ。

福祉わかめを販売します

◆品名 宮城県産生わかめ
◆価格 1袋(200g) 400円

◆販売時期 1月下旬から
◆問合せ先 社会福祉協議会 本所・支所



記事のお詫びと訂正

社協だより12月号におきまして、第5回福祉標語・ポスターコンクールの結果の表記で間違いがありました。受賞者様及び関係各位にご迷惑をお掛けしましたこと謹んでお詫びいたしますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

最優秀賞



境小学校 いしかわ ねな 果

優秀賞



七合小学校 さとう 陽華 佐藤

ボランティアセンターだより

那須烏山そば組合「そば打ちボランティア」

このほど、那須烏山そば組合6店が、大和久福祉会のグループホーム「サルビア」でボランティア活動を行い、「ぶっかけおろしそば」を夕食に提供した。

そばは、24人の利用者とスタッフなどに50食が用意され、大盛りで提供されたが、お替りをする利用者が相次ぎ、用意されたそばはあっという間になくなった。

利用者からは、「手打ちそばを食べる機会が少ないのでとてもおいしく頂きました。そばは好きなので、お替りをして食べてしまいました」と笑顔で話していた。

那須烏山そば組合は年1回、市内の高齢者・障がい者・児童施設を交替で訪問し、ボランティアでそばを提供している。

会長の長山さんは「会員も高齢化して来ましたが、皆さんがそばを食べて喜んでいる姿を見るとこれからも続けていきたいと思えます」と話していた。



今月のごちそう さまでした!



烏山地区

メニュー(12月4日)

配食数71食

- ・焼き魚(塩さば)・大根キンピラ・ポテトサラダ・ゆで卵
- ・みかん・小梅

ここでは、毎月配食サービスボランティアの皆様が作っているお弁当を紹介します。

ボランティア関係の情報がありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております!!
問合せ先 市社会福祉協議会(ボランティア担当:石井・大森・笠井) ☎88-7881

生活上の心配ごと相談 (時間9:00~12:00)

場 所	期 日
本 所(田野倉) 保健福祉センター☎88-7881	1月23日(水) (行政・県民相談併催) 2月13日(水) (人権相談併催)
社協烏山支所(初音) ☎84-1294	1月16日(水) (行政・人権相談併催) 2月6日(水) (行政相談併催)

協力事業所と受注作業 (11月分)

すずらん ☎88-0840	あすなる ☎82-3141
丸星食品(株) 切干大根袋詰め	(有)大森紙器 箱折り
(株)シオダ ピン取り出し	エム・シー・アイ(株) 自動車部品選別等
(有)菊地製作所 ・袋詰め他	(有)坂本製作所 自動車部品選別等
(有)菊地製作所 スペア組み他	(有)菊地製作所 ゴーグルケース等
	(有)宝積寺タクシー 箱折り等

寄 付 (敬称略)

11月15日~12月14日

社会福祉振興基金

烏山地区民俗文化奉仕協会	56,822円
曲畑公民館	9,587円

記事の訂正とお詫び

「社協だより12月号」におきまして、ボランティアの達人の紹介の中に誤りがありました。ご本人様及び関係各位にご迷惑をお掛けしましたこと謹んでお詫びいたしますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

(誤) 千珠会代表高野千珠



(正) 千珠会代表根本タマエ

福祉サービス利用状況

(11月末現在)

介護保険サービス	
ホームヘルプサービス	122件
ケアプラン作成	212件
介護予防ケアプラン作成	39件
介護保険以外のサービス	
有償ホームヘルプ	15件
日常生活用具貸与	12件
障害者ホームヘルプ	10件
児童発達支援事業契約数	41件
放課後等デイサービス契約数	45件
障害児相談支援契約	104件
あすてらすサービス契約数	38件

アルミ缶(単位:個)(敬称略)(11月15日~12月14日)

すずらん ☎88-0840	あすなる ☎82-3141
青木 とみ子 105	漆原 義孝 150
滝口 悟 320	絵本喫茶ばたぼん 1,050
佐藤 孝夫 540	大谷 修一 80
桑川 康志朗 200	大貫 保 60
大野 伯恵 180	小野 幸夫 80
岩間 泉 240	神長上自治会協力者 780
梅田 惇二 90	上境中組協力者 60
高野 英知 280	釜銀 380
塩野 勇 270	かやぶき古民家大木邸 1,200
木村 ひでお 100	川上 幸子 150
野口 節 188	小泉 徳男 450
露久保 章 700	後藤 哲史 140
露久保 英司 150	小林建設(株) 600
露久保 芳広 200	小原沢自治会協力者 150
増淵 和夫 100	小森 キヨ 350
仲沢 暉 200	坂田屋商店 300
鈴木 喜代子 50	澤村 幸男 200
橘 100	JAなす南 60
佐藤自動車整備工場 200	塩野目商店 300
愛和苑 600	下境上自治会協力者 900
JA女性会三箇支部 900	下境西組協力者 660
(株)日本技研 70	小規模多機能ホームなごみ 450
(株)矢崎部品 1,296	五月女雅輝 150
(株)アヤラ産業 600	高野 源市 280
(株)東北化工 854	高橋 昭 320
(株)丸星食品 150	高橋 富次 60
志鳥上自治会有志 1,000	高橋 任 300
中山地区自治会有志 1,200	滝 喜久子 300
	(株)東北餃子 830
	中央協力者 300
	束原 正記 150
	栃木県庁南那須庁舎 300
	仲沢 瞳 230
	那須烏山商工会 450
	生魚商店 230
	成瀬 一郎 380
	根本 章 230
	野上 明光 350
	蓮見自動車 300
	菱沼 亜衣 160
	平野 中 150
	益子 豊 450
	湊 万理子 210
	森嶋 孝次 750
	山あげそば店 150
	(有)大森生コン 150
	横枕ソフトボール愛好会 1,500
(合計 10,883個)	(合計 17,230個)

社会福祉協議会は、皆さんの「心」に支えられて活動しています。ご理解とご協力をお願いします。